

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp  
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp  
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp



おにぎりカフェ・スタッフ

公民館だよりでは、今まで、市民による「子どもの居場所づくり」の事例として、「子ども食堂」や「放課後カフェ」を取り上げてきました。今月号では、下保谷児童センターを会場に行われている「おにぎりカフェ」と「勉強カフェ」を紹介します。

# 二つのカフェが「むずぶ」もの〜ぬくもりのサーブ・プロジェクト〜

## おにぎりカフェ

おにぎりカフェで手渡されるのは、パリッとした海苔がまかれた具の入っていないおにぎり。取材日、一つのテーブルでは小学生の女の子たちが談笑しながら、別のテーブルでは2歳くらいの女の子とお母さんが「おいしいね」と伝えあいながら、おにぎりを食べていました。誘いあって来た女の子たちの中には、初めての子ども5回目という子もいました。何回も足を運ぶ理由を尋ねると、「人の手でにぎられたおにぎりだから、おいしい」「笑顔で迎えてくれるのがうれしい」という答えが返ってきました。

午後4時を過ぎると、勉強カフェの高校生2人による英語での紙芝居が始まりました。おにぎりカフェは、下保谷児童センターと、地域の民生委員・児童委員やほっとネット推進員、育成会メンバー、住民から構成される下保谷児童センター応援団が共催で行っています。第一回目が開かれたのは平成28(2016)年11月。何回かの試行を経て、昨年5月から毎月1回、曜日を変えて、午後2時半から5時半頃まで開かれています。当初は社会福祉協議会の助成を受けていましたが、現在は、この7月に始まったフードドライブ(家庭で余っている食品を持ち寄り、必要とする団体等に寄付する活動)からお米と海苔の提供を受けています。



紙芝居の時間

勉強カフェは、日本の子どもの20%近くが相対的貧困の状態にあることを知ったひとりの高校生が、「地域で支え合う社会」をつくるために、自分ができるところをしようと、行動したことから生まれました。平成29年11月に始まり、回を重ねる中、だれもが自由に居心地よく過ごせる場という方向性が明確になりました。こちらでも「常連さん」が生まれています。



勉強カフェ・スタッフ

感想を聞くと、「やさしいお姉さんが教えてくれるので、楽しい」。受験生は「わかりやすく教えてくれる。大人の人に教えてもらうより、敷居が低い」と話していました。

## 未来のスタッフ、募集中!

スタッフは全員、高校3年生。いずれは市内の高校生に引き継ぐことができます。今、勉強カフェに来ている中学生がやってくれるといいなとも。これからのことを尋ねると、「勉強カフェを通して地域の方とかかわりをもつことができ、この地域をよりよくしていく」というパッションが自分の中に生まれました。(帰国子女である)私たちの強みを活かして英語に触れる機会も提供し、ちょっと年上の人と話せて楽しい」と感じてもらえたらうれしい」と話してくれました。

勉強カフェで、高校生は、何かをされる対象ではなく、地域社会を変え、共に生きる社会を形成していく主体でした。小中学生にとって、それは、思い描ける、近い未来の自分の姿の一つだと思えます。

## 二つの取り組みは、下保谷児童センターの支援によって実現しました。藤森光一センター長にお話を伺いました。

主任児童委員の西原みどりさんから最初に受けた相談は、下保谷児童センターの調理室を利用して子ども食堂を開きたいというものでした。しかし、食事を提供するとなると、食材の調達や衛生面の配慮、運営体制の確保、資金の問題など、課題がたくさんあり、ハードルが高くなります。まずは「おにぎり」にぎっていますよ。食べに来てください」「ぐらいから始めるのがよいのではないかと提案しました。

## 写真で見る いまむかし

### 青梅街道沿いの埼玉銀行

埼玉銀行の移転後、建物は旧田無市役所の庁舎として使用されました。埼玉銀行は、その後、他行と合併し、現在は「りそな銀行」となっています。



埼玉銀行 昭和41(1966)年撮影 西東京市中央図書館地域・行政資料室所蔵



現在の田無町三丁目8番 (右奥はコール田無) 撮影: 松嶋 真 (田無町在住)

## 勉強カフェ

勉強カフェが開かれるのは、月2回程度、土曜日の午後3時

から4時半までです。東京学芸大学附属国際中等教育学校に通う高校生を中心に運営しています。毎回、8人から15人の小学生から中学3年生までの子どもたちが、高校生と一緒に、持参した学校の宿題や問題集、ドリルなどに取り組みます。

勉強カフェは、子どもたちは、「あともう少し。がんばって終わらせよう」「ここは、もう一度やってみよう」と寄り添う高校生と一緒に、勉強に集中しています。

## ぬくもりを手渡しで

おにぎりカフェでは、人が手でにぎったシンプルなおにぎりと一緒に、あたたかな何かを手渡されているのを来た人たちは感じているようでした。